

第 11 回 マレーシアで葬式を挙げる方法

不幸にしてマレーシアで葬式を挙げるような状況になった人のために、私の知っている範囲での葬式の手続きなどを書きたいと思います。

まず手続きですが、まず大使館や総領事館に連絡を入れることになります。大使館や領事館に電話で日本人が死亡したことを伝えますと、担当の領事や副領事の方が親切にすべての手続きをしてくれるだけでなく、良心的な葬儀屋まで紹介してくれます。

日本に遺体を火葬せずに運ぶこともできるようですが、手続きが大変なようです。これも大使館の担当の人に相談してください。こちらで火葬する際には大使館などで紹介された葬儀屋に連絡をしますと、葬儀屋の指定の火葬場や、大きな葬儀屋の場合、自社の火葬場で火葬してくれます。

その際に棺を選び、葬式をする際の宗教を選びますと、その通りに葬儀屋が棺を用意し、仏教の場合にはお坊さんを、キリスト教の場合には牧師さんと呼んできてくれます。そして葬儀の際のお花や聖職者の方へのお礼の金額などもすべて含んでいくらという見積もりを葬儀屋が出してきます。棺にはグレードがいろいろあるようで、私の知っている限りでは一番高い棺は5000リング（15万円）くらいでした。

そしてお骨にしますと、それを骨壺に入れ、マレーシアの市役所の保健所の担当官が封印してくれます。その場で骨壺である証明書を作ってくれます。その担当官に来てもらう手続きも葬儀屋がやってくれます。その証明書があると骨壺を日本に持って帰る時に、税関で開封されることはありません。

また飛行機に乗る際に骨壺を荷物を入れるコンパートメントに入れたくないというのは人情ですので、空港の飛行機会社の事務所に行って、隣の席を骨壺のために空けて欲しいと頼めば、満席でない限り、便宜を図ってくれると思います。実際、私のお客様で日本航空の方に事情を話したら、1つ席を無料で確保してもらったという例もあります。

日本人がマレーシアで亡くなった時に一番お世話になるのが大使館や総領事館の方々に、本当に親切に対応してくれます。人生の終わりを外国で迎えても、日本人としてきちんと対応してもらえることは素晴らしいことだと思います。

もしマレーシアの土になりたいと思われる方は、KLには日本人会所有の日本人墓地がありますので、そこに入ることも可能だと思いますが、日本人会の会員限定とも聞いております。もちろんマレーシアの海に灰を撒くとかをご希望の方はそうすることもできると思います。